

2026年3月1日  
発行/日本共産党市川議団地域版  
自宅/市川市須和田2-12-3  
fax 047-303-3025  
携帯 090-6310-3294  
メールアドレス  
shimizu@jcp-ichikawa.com  
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール

No.174

値上げになります

被用者保険、国保、後期高齢者も

# 4月から「子ども・子育て支援金」が加算

**2. 子ども・子育て支援金制度**

- ・国の「子ども・子育て支援加速化プラン」を支える財源です。
- ・令和8年度から医療保険料に上乗せされる形で徴収されます。
- ・令和8年度から令和10年度にかけて段階的に増額されます。

**子ども・子育て支援加速化プラン**

- ☑ 児童手当の抜本的拡充
- ☑ 妊婦のための支援給付
- ☑ 子ども誰でも通園制度の創設 など

子ども家庭庁

納付

**子ども・子育て支援金**  
国全体の支援金総額  
R8 6千億円 R9 8千億円 R10 1兆円

徴収

各医療保険の被保険者

<b>被用者保険</b> 加入者一人あたり月額 R8 約300円 R9 約400円 R10 約500円	<b>国民健康保険</b> 加入者一人あたり月額 R8 約250円 R9 約300円 R10 約400円	<b>後期高齢者医療制度</b> 加入者一人あたり月額 R8 約200円 R9 約250円 R10 約350円
---	--	---

4月から、医療保険料に医療給付とは別もの「子ども・子育て支援金」が加算されます。「子ども・子育て支援金」とは、どのようなものでしょうか。

「若者・子育て世代の所得を増やす」「社会全体の構造や意識を変える」「すべての子ども・子育て世帯を切れ目なく支援する」を基本理念として、2023年12月に閣議決定された「子ども未来戦略」を受け、子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律が成立し、2024年4月から、子ども・子育て支援金が医療保険と合わせて拠出する仕組みが出来上がりました。まったく国民には説明もありません。

医療保険に加入している

「若者・子育て世代の全員から、徴収するといふものです。月額（平均）約200円から300円となり、令和8年度から10年度まで段階的に増額されます。

令和8年度、市川市は支援金（約2億9千万円）を県に納付しなければなりません。

少子化対策ならば、公費で負担するべきではないでしょうか。子育て支援金の使い道は、児童手当拡充、出産手当、子ども誰でも通園制度、共働き推進などです。「独身税」とも言われています。



2月13日、市政懇談会を開催

## 2月定例会は予算議会 過去最高の予算額

暮らし最優先に

2月12日に施政方針と教育行政方針が示され、20日から本会議・代表質問が始まりました。予算総額は前年度比19.6億円増の2022億円となります。新規・継続事業はありますが、4月に市長選挙があり、骨格予算となっており、三番瀬人口干潟整備予算など含まれており、一般会計、国保会計などに反対します。

▼新規・継続事業

- ◎物価高騰対応
- ・市民1人当たり4500円分のデジタル地域通貨ICHIICOカード支給（1月の臨時会で決定）
- ・市議団は、使える店舗が少ない地域など不公平感がある。誰でも市内で使える商品券はどうかと提案しました。
- ◎脱炭素社会の実現
- ・ペットボトル分別収集 プラごみの収集日と同じ曜日に収集する。集積所にネット袋を置き、そこに、キャップとラベルをはがしペットボトルのみ入れる。
- ◎ゴールドシニア事業
- ・エアコンサポート75エアコン代（上限8万円）対象者・75歳以上の高齢者を含む世帯、自宅にエアコンが1台もない世帯など
- ・チケット75
- ・AIIバスだけ20枚
- ・BIIタクシーだけ10枚
- ・CIIバス10枚とタクシー5枚（これまで同様）

# トイレ洋式が3箇所

地域の新婦人班の仲間と、公園のトイレ洋式化を求めて署名を集め、市担当課に要望してきた

須和田1丁目・八幡野公園、そして、写真は、国



分2丁目・石橋下公園です。3月20日には完成します。ひとりの声かけから始まった活動が実を結びました。

## 解散総選挙 日本共産党4議席 南関東でははたの君枝候補が当選



2月8日に投開票された総選挙において、日本共産党は4議席後退し、4議席にとどまりました。ご支援に心から感謝申し上げます。しかし、市民の暮らしは悪くなる一方、今後もあらゆる分野で国民要求に基づく運動を起こし、公約実現に全力で頑張ります。(写真は、総選挙最終盤に、市川駅に山添参議院議員が応援に駆けつけました)

## 市川市母親大会



2月15日、「平和をつくる仕事をしたかった」という高橋悠太さんが記念

講演を行いました。

25歳には思えない穏やかな語り口調で、中学1年の時に、被爆者である故坪井直さんの証言を聞いたことがきっかけでこの世界に。市川市在住の被爆者・児玉美智子さんとも交流があると言っていました。昨年夏に、市川市は10年ぶりに、中学生を広島に派遣しました。その際にも、ワークショップなどお手伝いしてきたそうです。市議団では、毎年派遣を要望してきましたが、来年度も派遣する予算がつかまりました。

写真は、オープニングを飾った「中野七頭舞」の皆さん。江戸時代から岩手県三陸地方に伝わる開拓の踊りです。

## 無料法律相談

◎3月10日(火)  
担当 土居太郎弁護士  
◎4月14日(火)  
担当 井出達希弁護士  
午後2時から5時まで  
相談時間はひとり30分。  
予約は清水又は控室まで

## 《主な活動報告 1月》

### ☆1月10日 市川市消防出初式



毎年年初めに行われます「消防出初式」は、今年も国府台体育館で開催されました。アトラクションでは、消防隊の音楽と、チアリーディング

### ☆1月25日 土建新春旗開きであいさつ

千葉土建市川支部の新春旗開きが行われました。支部は6つの分会に分かれて活動しています。あいさつのあとは、分会対抗の余興で楽しみました。支部では今年夏に、独自の会館が出来上がります。そのお祝いを述べました。



### ☆1月10日 障害のある子どもの教育を語り合う集会在千葉(浦安市)

昨年度までは「全国障害児学級&学校学習交流集会」という名称を、「障害のある子どもの教育を語り合う全国学習交流集会」に変更。障害のある子どもたちは通常学級でも学んでいるということです。千葉県から実践報告をしました。オープニングは浦安の子どものパフォーマンスです。とても生き生きと踊っていました。



### ☆1月15日 ジュンサイを残そう市民の会総会

市民の会は、「ジュンサイ通信」を発行し、自然ゾーンで、ザリガニを取ったり、池をきれいに保ち、ジュンサイを残そうと頑張っておられます。私も会員に名を連ねていますが、あまりお役に立っていません。少しでもお役に立てるように頑張ります。